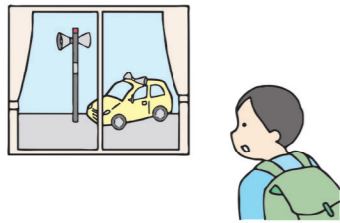


# 避難時の心得

## 素早く行動しましょう

避難を行うときにもいろいろな危険がひそんでいます。あわてず、速やかに、注意深く行動しましょう。

### 1 避難の呼びかけに注意しましょう



- 避難指示には、速やかにしがいきましょう。
- 台風などで夜に大雨が降ることが予想されるときは、明るいうちに安全な場所に避難しましょう。
- 避難するときは、ガス栓を締め、ブレーカーを落としましょう。

### 2 みんなで協力しあって避難しましょう



- とおり近所と声をかけあって、みんなと一緒に避難しましょう。
- 近くに高齢の方や支援を必要とされる方がいたら、助けあいましょう。

### 3 車での避難は控えましょう



- 避難のときは、車の使用を控えましょう。(渋滞に巻き込まれたり、道路の浸水で、車が止まってしまったりすることがあります)
- やむを得ず車を使用するときには、避難路が浸水していないことなどを確認のうえ、早めに避難しましょう。

### 4 がけから離れた高い場所に避難しましょう



- すでに浸水が始まっているなど、屋外へ避難するとかえって危険な場合があります。逃げ遅れたときは、建物のできるだけ高い場所に避難しましょう。
- 背後にがけがあるときは、がけからできるだけ離れた部屋に避難しましょう。

## 服装や所持品にも注意しましょう

### 5 動きやすい服装で避難しましょう



- 服装は身軽で目立つものにしましょう。
- 荷物は少なめに、リュックなどを使ってできるだけ両手をあけましょう。
- スニーカーなど履きなれた靴で避難しましょう。長靴は、水が入り歩きにくく、転倒するおそれがあるため、履くのをやめましょう。

## 避難をするときに注意すること

風水害からの避難は、避難所などへの「水平避難」か階上への「垂直避難」のいずれかが基本です。

### 水平避難

#### 水平避難

#### 危険区域外への避難

避難経路の中にある危険に注意しましょう



- がけなどの近くを通るときは、がけ崩れなどに注意し、がけからできるだけ離れて歩きましょう。



- 水の中を歩くときは、棒などで安全を確かめながら側溝やフタの外れたマンホールなどに注意して歩きましょう。



- できるだけ河川の近くや水路を避けて避難しましょう。

### 垂直避難

#### 垂直避難



危険が切迫しているときは、指定された避難所への移動だけでなく、命を守る最善の行動をとりましょう。

- 避難経路の危険箇所がわかりにくい
- ひざ上(50cm以上)まで浸水している
- 水の流れが速い

このような状況で屋外へ避難するとかえって危険であるため、建物のできるだけ高い場所に緊急避難し、救助を待つことも検討してください。

## 避難行動判定フロー

### あなたがとるべき避難行動は？

ハザードマップ\*で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

\*ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。



### 必ず取り組みましょう

家がある場所に色が塗られていますか？

はい

災害の危険があるので、自宅の外に避難が必要です。

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地やがけのそばなどにお住まいの方は、須賀川市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？(高齢者や障がいをお持ちの方など)

はい

身を寄せられる安全な場所に住んでいる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3(高齢者等避難)が発令されたら、安全な場所に住んでいる親戚や知人宅に避難しましょう(日ごろから相談しておきましょう)。

いいえ

警戒レベル3(高齢者等避難)が発令されたら、須賀川市の指定一般避難所、指定福祉避難所、指定緊急避難場所に避難しましょう。

いいえ

身を寄せられる安全な場所に住んでいる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4(避難指示)が発令されたら、安全な場所に住んでいる親戚や知人宅に避難しましょう(日ごろから相談しておきましょう)。

いいえ

警戒レベル4(避難指示)が発令されたら、須賀川市の指定一般避難所、指定福祉避難所、指定緊急避難場所に避難しましょう。